

企画財政部長（桶屋栄造君）

小川議員のアクセス機能整備についての御質問でございます。

松任駅と鶴来地域を結ぶ公共交通としては、路線バスでは鶴来線、白山線が1日5往復走っておりますが、残念ながら利用は少なく赤字路線となっているのが現状でございます。

現在のダイヤは比較的利用の多い時間帯に設定されておりまして、これを増便するということになれば、この赤字がさらに大幅に膨らむことが予想されます。

この2つの路線につきましては、現状でも県と市で年間1,100万円の赤字補填をしていることから、これ以上の増便は困難であると考えております。

次に、企業市民バスの御提案につきましては、県内ではコミュニティバスのない加賀市において、おでかけ応援車両という似通った制度がございます。

これは公共交通の空白地域を対象として、民間病院や自動車学校、老人福祉施設が送迎バスを利用して、高齢者や障害者の方々を無料で便乗させるというものであります。

地域ぐるみで公共交通体系を確保する試みとしては、素晴らしい取り組みではありますが、これを実施するには各事業所がボランティアで協力してくれるという前提条件をクリアする必要があります。

また、本市のように路線バスや鉄道、コミュニティバスが市内全域を網羅している、市内全域で運行されている、いわゆる交通空白地域はないというような場合には、このような取り組みが既存の公共交通を圧迫することにもつながります。また、白ナンバー車両での運行では十分な安全性が担保されないということからも、現状での導入は難しいものと考えているところであります。

以上です。